

「めざす子ども像と1人1台端末の在り方」について議論する際に必要な視点

1. 枚方市の教育理念と教育目標

(1) 枚方市教育理念

「『夢と志を持ち、可能性に挑戦する“枚方のこども”の育成』～子どもたちの未来への可能性を最大限に伸ばす枚方の教育～」

(2) 枚方市教育目標

「学びあい、つながりあい、一人ひとりの未来をひらく～自立、協働、創造に向けた主体的な学びを支え、可能性を最大限に伸ばす～」

2. 議論の視点

【全会議を通して】

・これからの子どもたちに必要な資質・能力

【第1・2回】「授業改善」と「家庭学習」

議論の主題:小中学校において具体的にどのような活用がされているのか、子どもたちにはどのような力が身に付いているのか。

【第3回以降】

- ・不登校支援
- ・支援教育
- ・外国にルーツを持つ子どもに対する活用
- ・キャリア教育
- ・健康(姿勢など)
- ・学習支援ソフト・アプリケーション
- ・通信環境
- ・働き方改革・業務改善
- ・デジタルリテラシー・サイバーセキュリティ

3. 授業改善と家庭学習での活用事例及び活用頻度

小中学校での1人1台端末の活用事例

活用例【授業】



1人1台端末を用いて個別最適な学びと協働的な学びの実現へ授業改善、教員はあくまでファシリテーター。



実技教科では、カメラを活用して、自分がどのように表現できているかを確認。



子どもが作成したスライドをもとに授業解説。



1人1台端末を用いて協働的な学びを实践。

活用例【家庭学習】



学校で学んだことを家庭学習にも接続、自分で分かったことを家で改めて表現します。



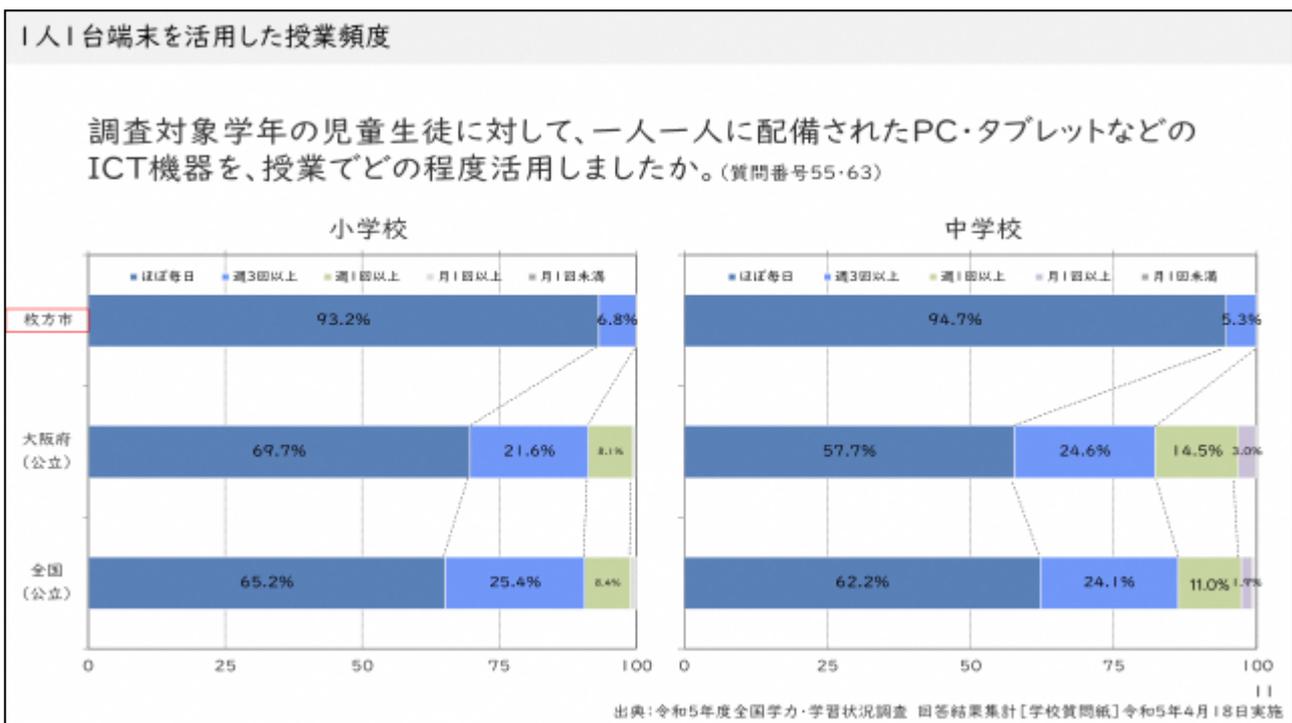
AIドリルの活用で、好きな教科の単元を学べます。学年を超えたドリルの実施も可能。



子どもが家庭で作成したスライド資料を一覧で確認。(探究的な学び)

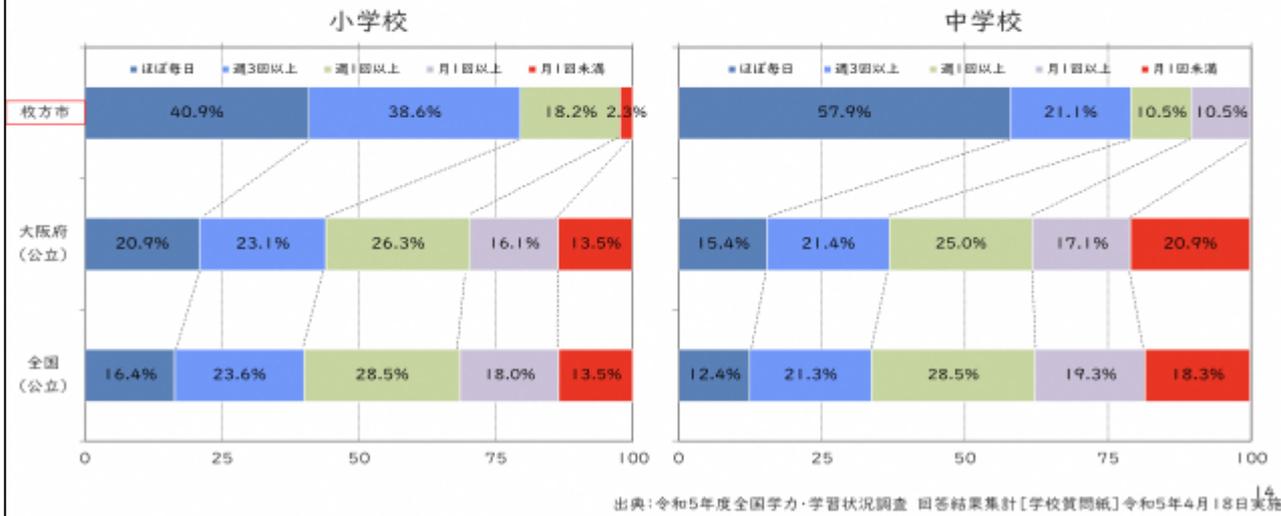


自分のペース、目標値を決め、English 4skills(AIドリル)を使って、4技能を鍛えらる。



1人1台端末を活用した協働的な学びの頻度

調査対象学年の児童生徒同士がやりとりする場面では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか。(質問番号59・67)



1人1台端末を活用した個別最適な学びの頻度

児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか。(質問番号60・68)

